

半切四分の一に書くⅡ (11)

締切り 十一月二十五日 (必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のこと、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

ります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕 暁霜楓葉丹 (謝霊雲)

〔大意〕 暁の霜に楓は美しく、紅葉している。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べるのが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔変換例〕

〔読み〕人間の能力はそれが属している 社会の質に影響する

(能) 能 (属) 属 (質) 質 (影) 影

リズムよく 高く

◎教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。
 ◎草書は、日常生活ではあまり見かけないので、中々覚えられませんが、競書でしっかり学べば段々と身につくものです。『草書を覚える』ために編集された本も出版されていますので、活用してみましよう。

人々の能力は
 それが属している
 社会の質に影響する

おく 村 暢 之 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕

危 険 玩 興 当 暗 号

な	玩	言
ら	具	葉
な	で	は
い	当	危
暗	て	険
号	に	な
だ		

おお たに せい じょう 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★言葉は：(書体Ⅱ楷書)

中島みゆき(一九五二)

シンガーソングライター

谷川俊太郎は、言葉はいつまでたっても曖昧であると言っています。

言葉に曖昧さがあるということは、正確に翻訳されることのない暗号を、送り手と受け手の間でやりとりしていることと同じであり、言葉を不用意にもてあそぶのは危険でしょう。

◆12月課題予告(行書)

貧しくあれ

豊かになれば

必ず志を失う

★人間の：(書体Ⅱ行草または草書)

司馬遼太郎(一九三二一九九六)

戦後の小説家

能力の高い人間でも低い能力の集団にいます、能力を生かしきれません。逆に、低い能力の人間が高い能力の人たちの中にいます、高いレベルの仕事もできるようになります。

できれば、なるべく高い能力の人たちと常に仕事をしたいものです。

◆12月課題予告(楷書)

如何なる人の知識も

その人の経験で

越えるものは無い

▼教範・書範Ⅱ行草または草書

▼師範Ⅱ行書

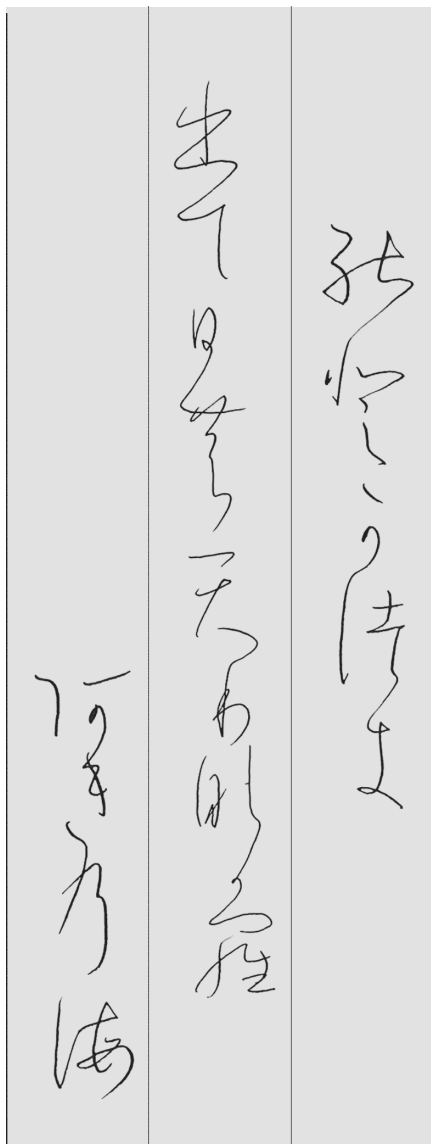
一般部かな課題

締切り 11月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

能登が突き出で日のてりながら秋の海



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

能登が突き出で日のてりながら秋の海



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

◆12月課題予告
海に出て木枯帰るところなし

(山口誓子)

に、〈海〉と書く。

【解説】〈海〉の最後の画は〈あ〉と書くのではなく、一ツ点を入れたように、〈海〉と書く。

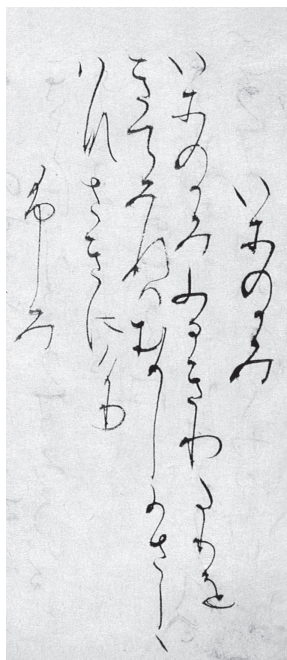
阿あ 羅ら 奈な 農の 徒つ
阿あ 羅ら 奈な 農の 徒つ
阿あ 羅ら 奈な 農の 徒つ
阿あ 羅ら 奈な 農の 徒つ
阿あ 羅ら 奈な 農の 徒つ

【古筆参考】

能登が突き出で日のてりながら
秋の海
(中塚一碧楼)
【句解】秋陽の照り輝く青い海、そのはるかかなたにまで能登半島が突き出ていることだよ。
【鑑賞】昭和四年十一月北陸地方への旅にたち、越中(富山県)城端の満花城居でこの句を作っている。松尾芭蕉の「早稲の香や分け入る右は有磯海」と一脈通ずるものがあり、加藤晩台の「九月尽遙かに能登の岬かな」との共通点が想起される。

〔古筆参考〕

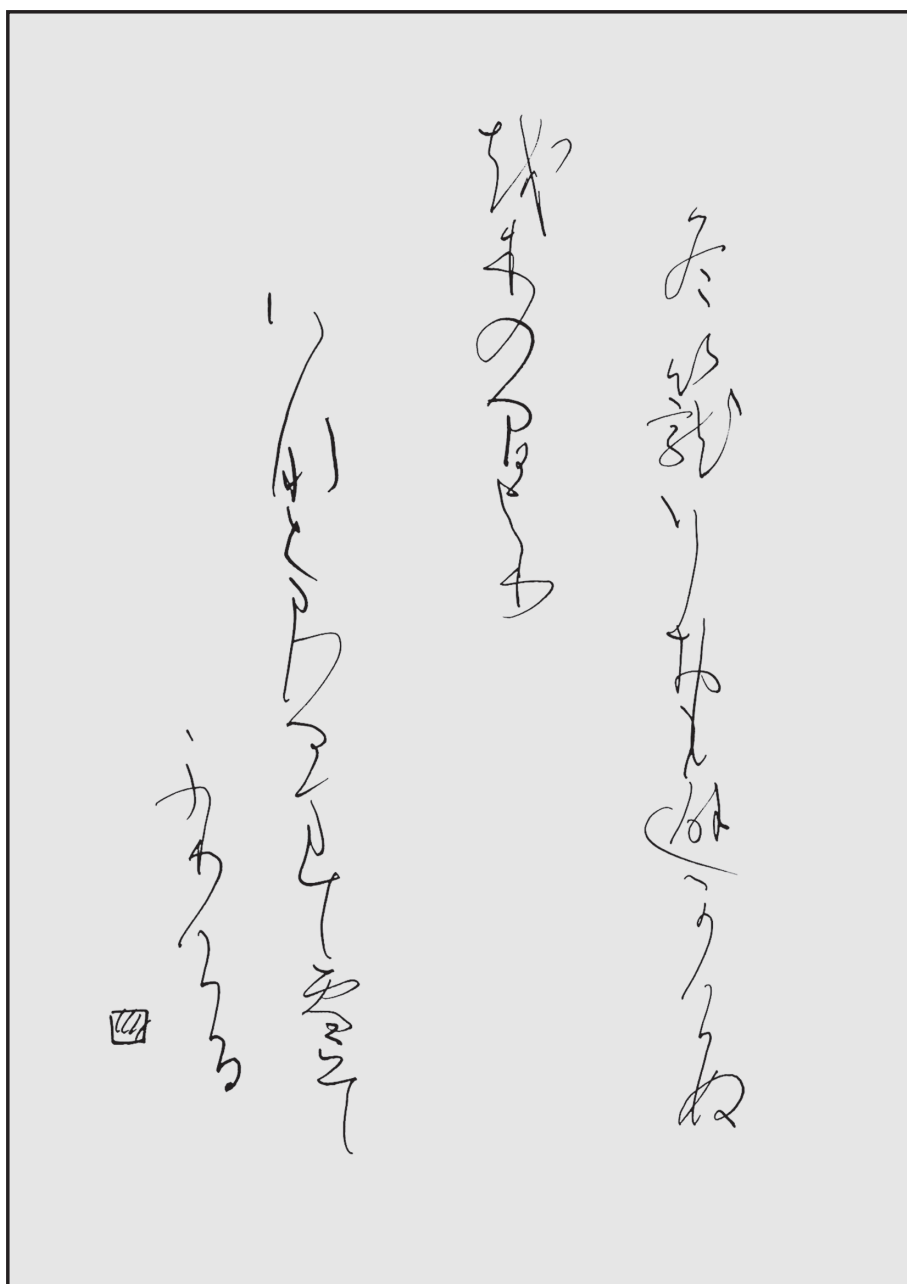
なかつかさしゅう
中務集



いそのかみ
いそのかみふるきわたりを
きてみればむかしがさし、
はなさきにけり
ふしみ

締切り 十一月二十五日（必着）

築瀬舟香書



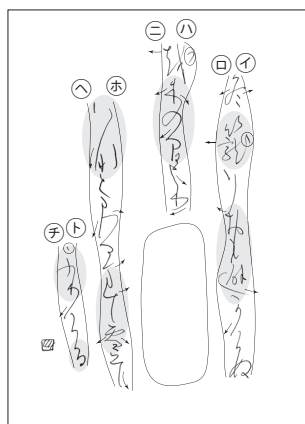
冬ごもりおもひかけぬを木の間より
花と見るまで雪ぞふりける

〔歌意〕今はすっかり冬ごもりの季節、ところが思いもかけず、枯れ枯れになった木々の間から、散る花のように雪が降っている。

〔出典〕古今和歌集

（新潮日本古典集成）

〔解説〕



・イとロ、イとニ、イとホ、イとケ、
イとチ、ハとニ、ハとホ、ハとケ、
ハとチ、ニとホ、ニとケ、ニとチ、
ホとチ、それぞれ呼応。

○余白大切。

●密の動き大切。

・行のゆれ大切。

・ノ方向が面をまとめる。

◆12月課題予告

あさぼらけありあけの月と見るまでに
吉野の里に降れる白雪

締切り 11月25日(必着)

今なお美しく颯爽としたお母さんには、赤いちゃんちゃんこは全く似合いませんが、赤いベルトならきっと素敵だろうと思い、還暦のお祝いに選びました。気に入っていただければ嬉しいのですが。

今なお美しく颯爽としたお母さんには、赤いちゃんちゃんこは全く似合いませんが、赤いベルトならきっと素敵だろうと思い、還暦のお祝いに選びました。気に入っていただければ嬉しいのですが。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

小春日和とは、寒さが増す晩秋のころの穏やかな晴天の日をいう。

山形県天童市 氏 名

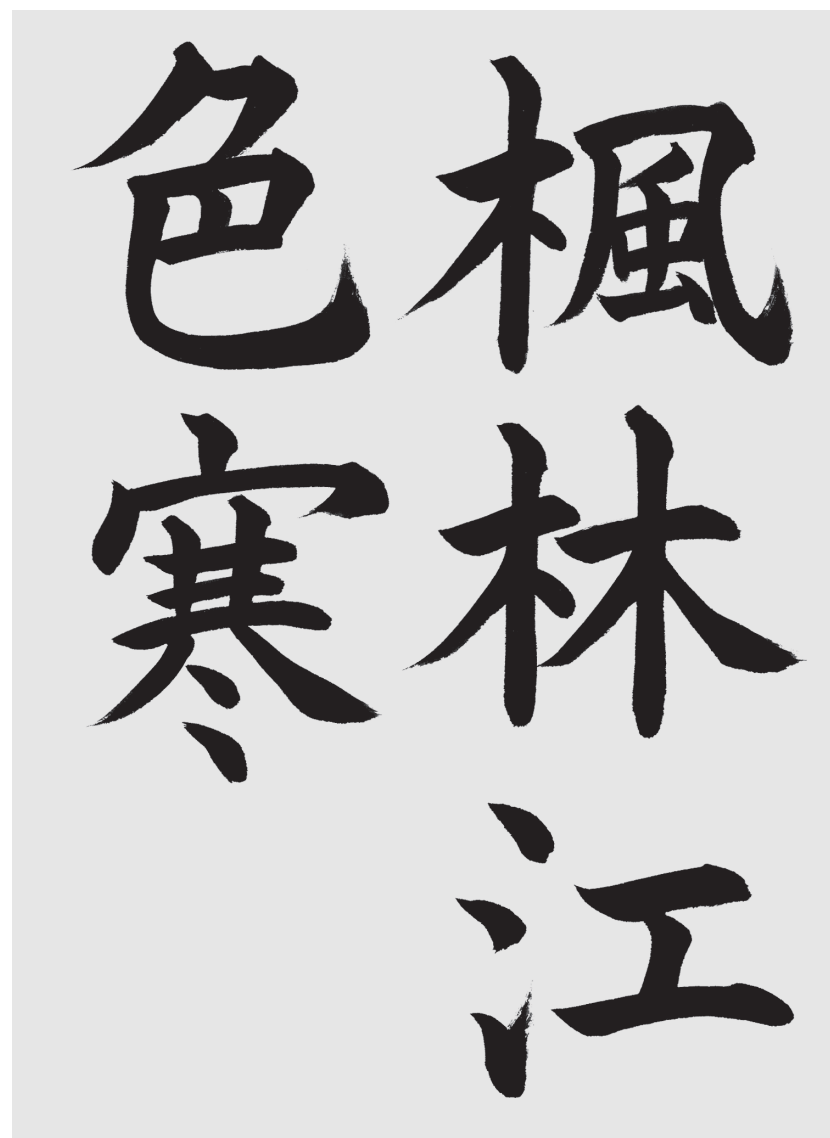
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 11月25日(必着)

新入から1級まで (楷書)

須田一葉書

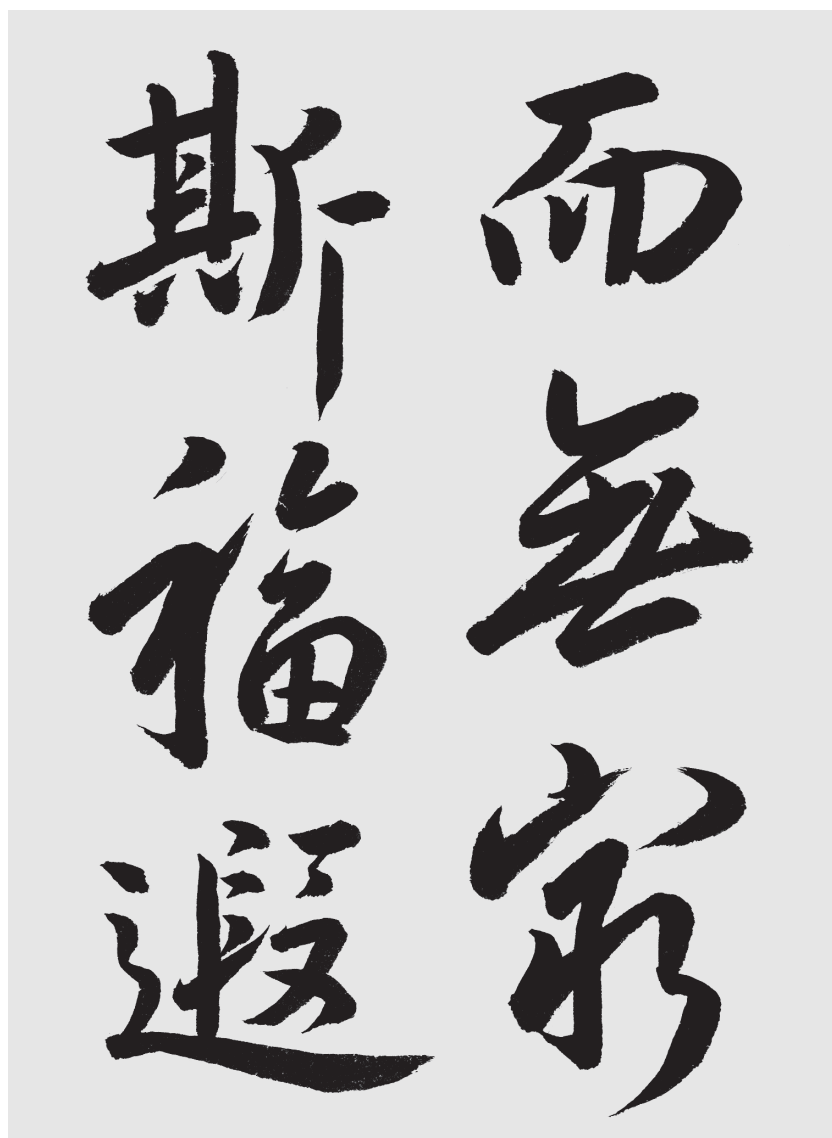


〔読み〕 ふうりんこうしよくさむ
楓林江色寒し

〔大意〕 紅葉の林に霜が降りて、川の景色もひとしお寒く感ずる。

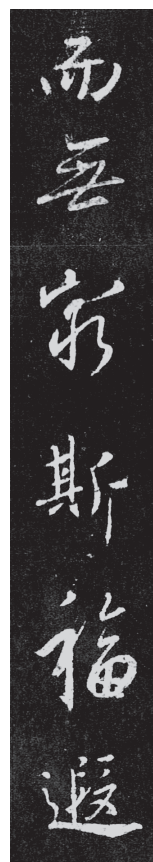
準初段から師範まで

奥村暢之臨



〔出典〕 集字聖教序 (672) 〔筆者〕 王羲之法書より集字

〔読み〕 きわなこ ふくはる
窮まり無く、斯の福遐かに



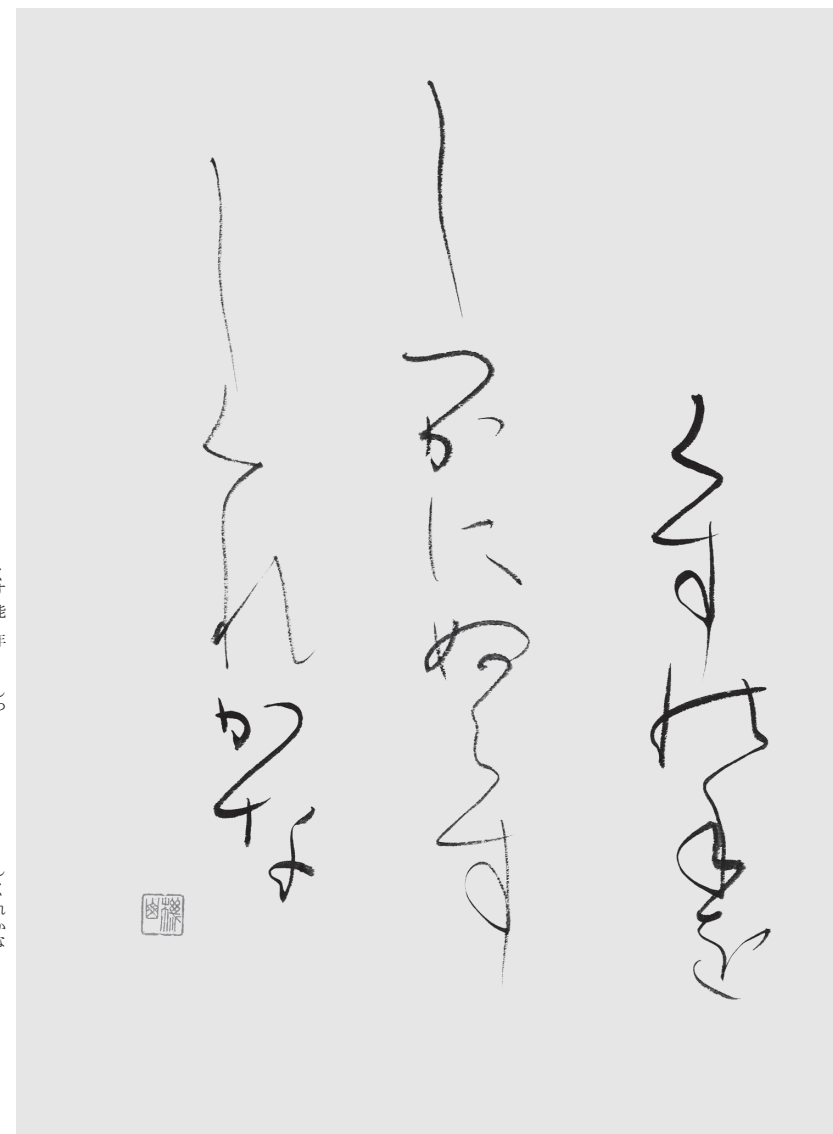
而無窮欺福遐

一般部毛筆かな課題

締切り 11月25日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書

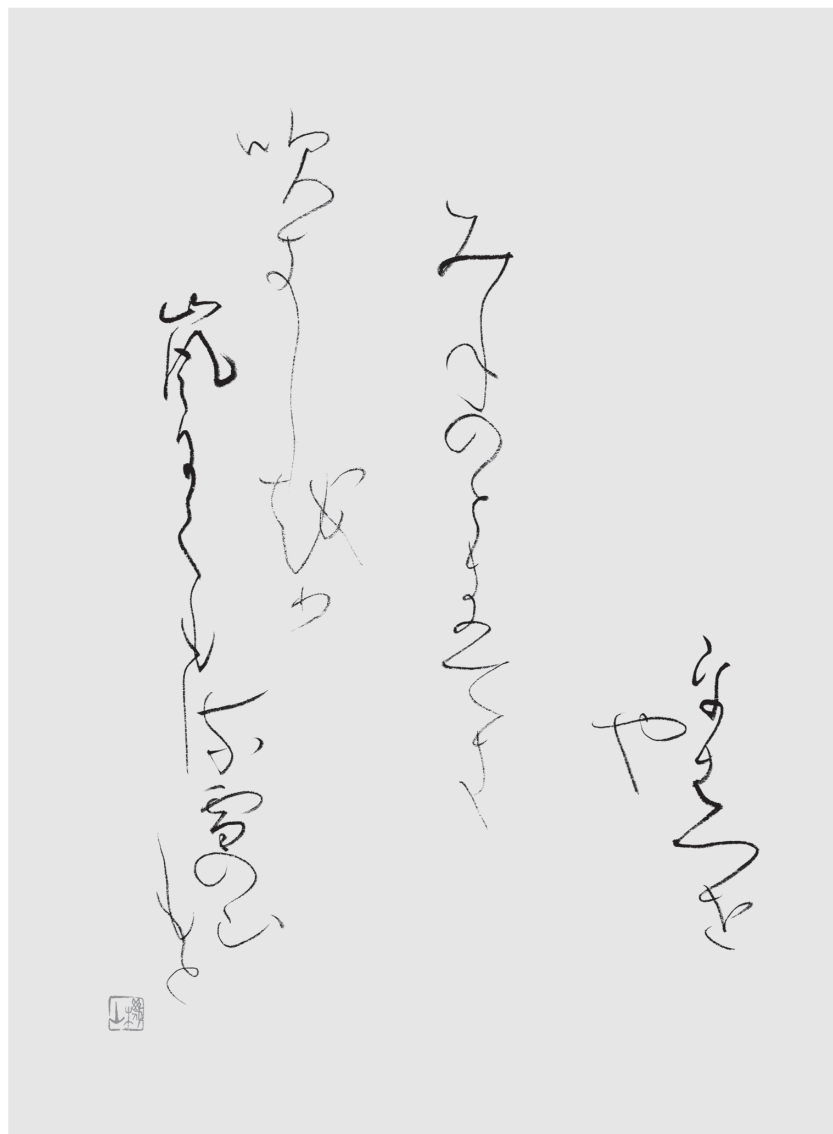


〔出典〕与謝蕪村

〔句意〕大きな楠の木のどっしりと張った根に、しみ入るように時雨が降りそそいでいる、の意。静寂な境地の句。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



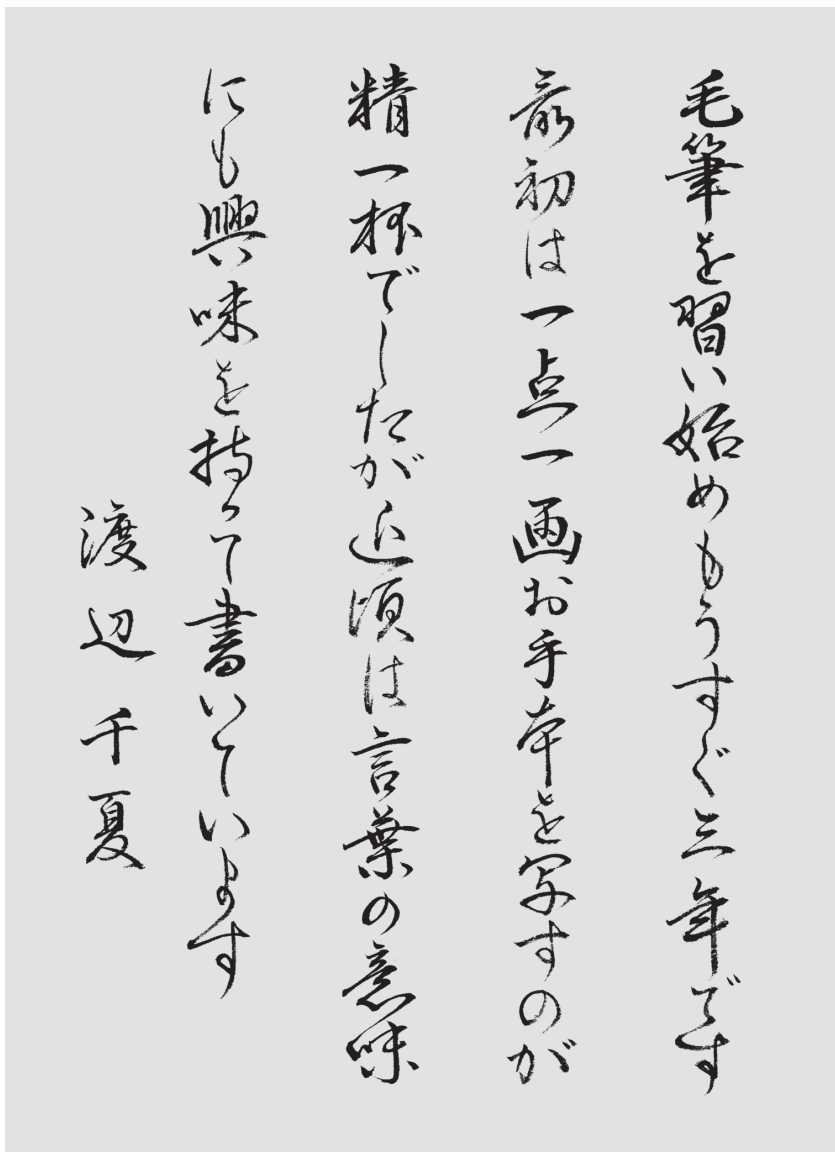
〔出典〕藤原定家

〔歌意〕泊瀬の山々よ。峰の青々とした常磐木を吹き萎えらせて、吹き荒れる嵐に吹雪となって、一面にかき曇っている山のふもとであるよ。

乎者つ世
小泊瀬や峰のときは木吹きしをり
嵐にくもる雪の山もと

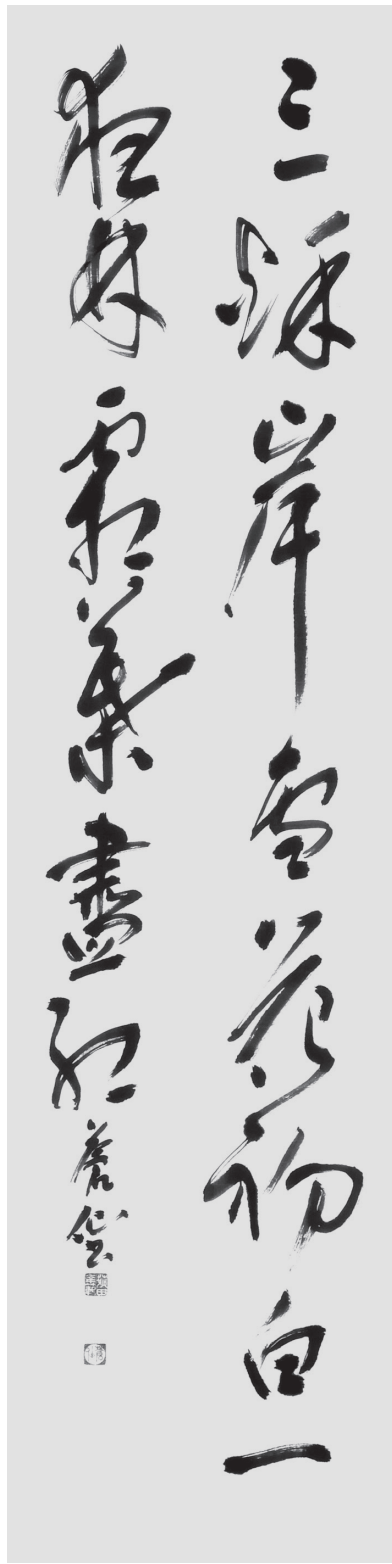
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 十一月二十五日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

荻 田 蒼 仙 書

〔条幅解説〕

○悠然たる作……「冗談言うな、覇気がなくなったんだ！」

○梯子の高い所から落下……「先生、病院に早く行って下さい……」「行く力がネエ。」

○あの有名高校での講演は……自慢話がないから失敗話でもしてくるよ。

毛筆を習い始めもうすぐ三年です

最初は一点一画お手本を写すのが
精一杯でしたが近頃は言葉の意味
にも興味を持って書いています

() 自分の氏名

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

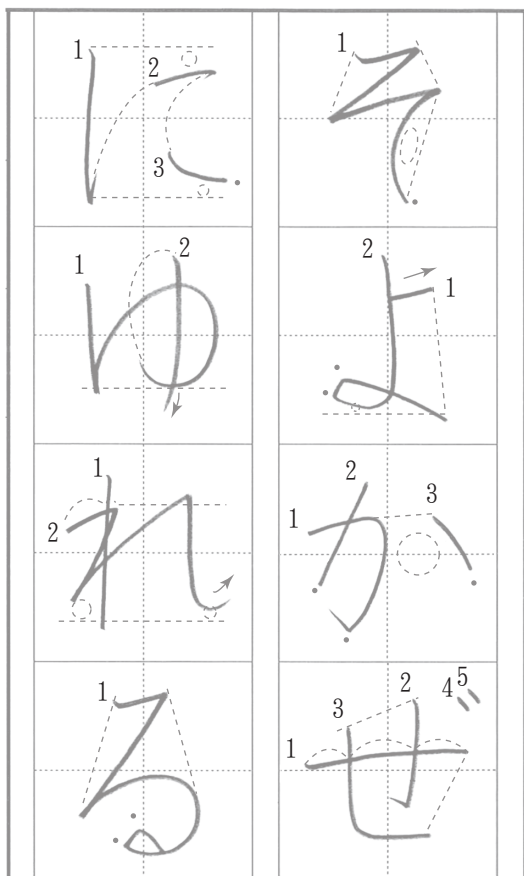
■ 新人から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月かわります。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

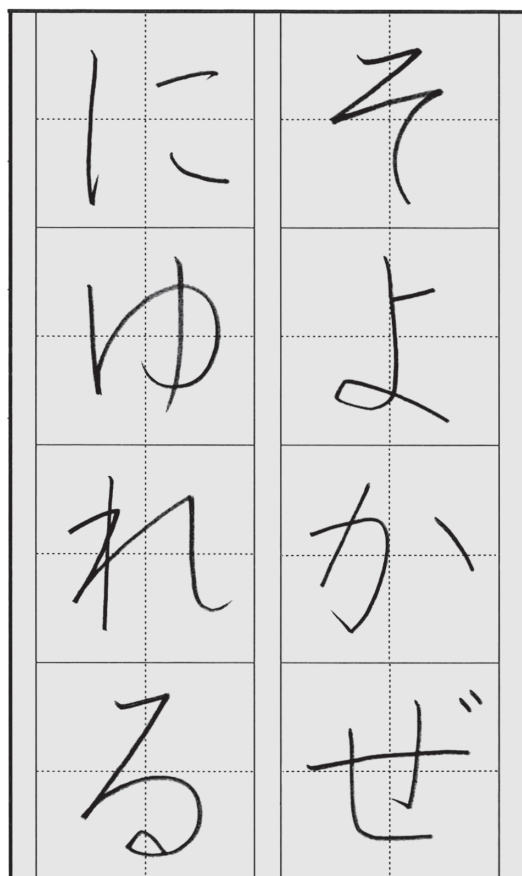
さんしゅうのがんせつはなはじめてしろく
三秋岸雪花初白
いちゃのりんそうはことくれないなり
一夜林霜葉盡紅
〔大意〕晩秋の岸辺に
雪のように見えるのは
白く咲いた葦の花。一
晩の霜ののち櫛の林は
どの葉も紅に染まって
いる。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)



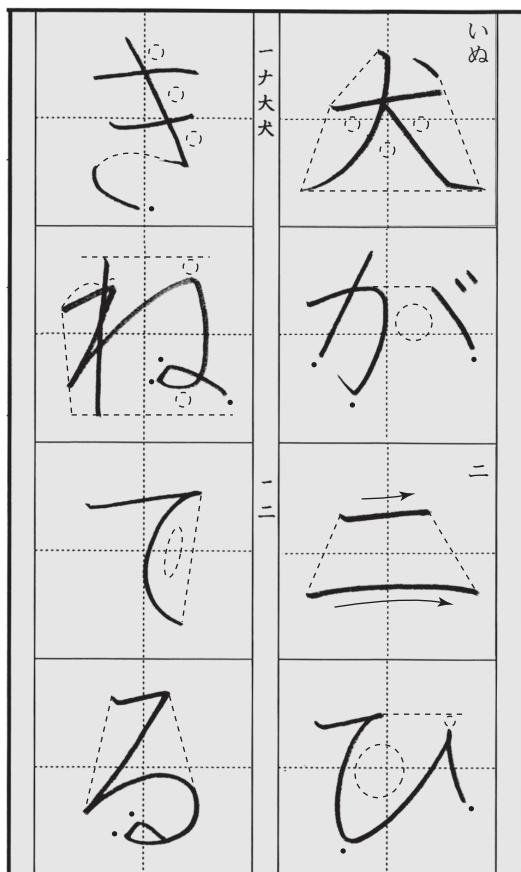
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



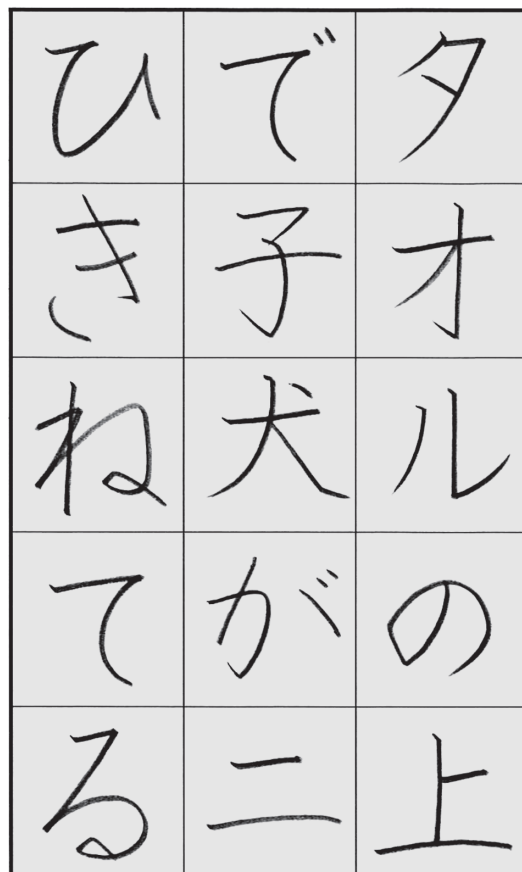
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

う	一ニテ天	天 ^{テン}
は	ノルハ気	気 ^キ
晴	ハ	よ
れ		ほ

新入1級

後	ど	天
は	お	気
晴	り	よ
れ	に	ほ
た	午	う

小二年
準初段以上

り	ニチチ和	和 ^ワ
方	カタ	紙 ^シ
習	ナラ	の
う	イイヤ作	作 ^{つく}

新入1級

作	用	プ
り	に	シ
方	和	ゼ
習	紙	ン
う	の	ト

小三年
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

う	リヨウ
温	理
度	に
計	使

新入1級

て	温	料
も	度	理
便	計	に
利	は	使
だ	と	う

小四年
準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

館	市
取	営
新	図
刊	書

解説(よく見て習いましょう)

入	に	市
荷	最	営
し	新	図
ま	刊	書
す	が	館

小五年
(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小六年

て	度	父
運	を	は
転	厳	制
す	守	限
る	し	速

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

厳	父
守	制
運	限
転	速

〈用具〉自由(黒色に限る)

中一年

み	ら	絵
聞	園	本
か	児	作
せ	に	家
る	読	自

(楷書)

中二・三年

(楷書)

珍	都	全
し	道	国
い	府	四
祭	県	十
り	の	七

▼小三年以下の課題

にし じ せい れん 蓮 書

※母^{かあ}さん・二^{ふたり}人^に単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用

お	母 ^{かあ}	の	に	生 ^{じょう} 日 ^び	と	姉 ^{あね}	を	作 ^{つく} り	プ	レ	ゼ	ン	ト



しめきり 11月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

はや かわ りん か 早 川 林 花 書

火 ^か	気 ^き	火 ^ひ	空 ^{くう}	こ
災 ^{さい}	を	元 ^{もと}	気 ^き	れ
予 ^よ	付 ^つ	に	が	か
防 ^{ぼう}	け	は	乾 ^{かわ}	ら
し	て	十 ^{じゅう}	く	の
ま		分 ^{ぶん}	の	時 ^じ
す			で	季 ^き



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小二

天気

さい

れ

天気

気

小一

ねる

小五 入新
荷刊

方作
小三 り

中心
長めに
度

作

新

方

荷

温

計温
小四 度

小三、小五年
玉樹小華書

中二・三
府都
県道

小六
速制
度限

家 制
都 速
道 絵

中一
作絵
家本

小六・中二・三年
水野香竹書

第117回 硬筆検定試験受験要項

11月25日締切り

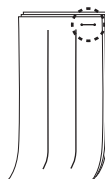
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題（小一から）⑤小論文⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和元年十一月二十五日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和二年二月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての新価格です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

一般部三段コースまで（規定・かな）…一、二〇〇円

規定 …一、四〇〇円

はがき・かな …二、〇〇〇円

教育部 …八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料 （新価格）
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 （級位用紙使用）	1	1	—	（イ）1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	下掲課題 （段位用紙使用）	1	1	1	（ロ）1	—	4	2,100

※受験料は全コースとも、消費税増税に伴う新価格となっています。

▶かな……田中貴光書

▶規定……奥村憲照先生書

課題（ロ）
段位用紙

課題（イ）
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行書》
段位用紙

《楷書》
段位用紙

顔出せば賜進る野分かな（石田波郷）

もす顔
ちふせハ
野かし
ふ

か思ふ
さの雪
香

か思え
さの雪
軽し

か思え
さの雪
軽し

◎1級コースは級位（マス目）用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

課 題 コース		受 験 資 格	最 高 昇 級 段 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書				
一 般 部	書範コース	・有 段 者 ・支局・支部長	書範まで	下記 3 科目活字課題	1	1	1	(□)1	1	5	3,000
	教範コース	・書 範 ・支局・支部長	教 範	下記 3 科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,200
教 育 部	普 通 コ ー ス	_____	11 月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由							1	420
	会 友 コ ー ス	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生	11 月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由							2	740

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すで
に単位を取得されている、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただ
し、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

書範・教範コース課題

規定 両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

半途にして怠れば

前功を失い

未熟にかえる

かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

冬ながら空より花の散り来るは
雲のあなたは春にやあるらむ(古今和歌集)

はがき 両コース共通

めつきり秋が深まってきました。
幼い頃よく一緒に登った裏庭の
柿の太木が、近年になく大豊作と
なりました。思い出の香りを包み
少しばかりお送りします。お正月
にはぜひお会いしたいものです。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具＝えんぴつ

小 1

木	森
を	や
き	林
る	の

用具＝えんぴつ

小 3

み	地	休
合	は	日
い	人	の
ま	で	遊
す	こ	園

用具＝鉛筆以外

小 4

散	父
歩	は
中	妹
だ	と

用具＝鉛筆以外

中 3

心	は	小
・	発	説
結	端	の
末	・	構
だ	中	成

(行 書)

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題 名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にままとするとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

ほ	前	バ
ど	市	ザ
の	を	ー
盛	な	は
況	す	門

(行 書)

第77回 毛筆検定試験受験要項

12月18日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和元年十二月十八日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和二年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての新価格です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

漢字半紙……一、二〇〇円
細字・かな……一、八〇〇円

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

漢字半紙……一、二〇〇円
漢字半紙……一、四〇〇円
細字……三、八〇〇円
細字……二、〇〇〇円
教育部……九〇〇円

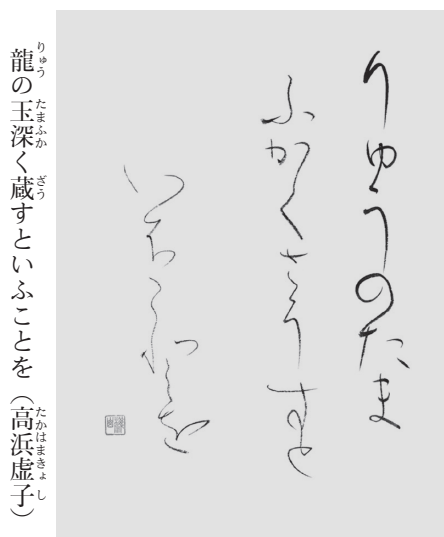
◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料 (新価格)
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	20ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,100

※受験料は全コースとも、消費税増税に伴う新価格となっています。

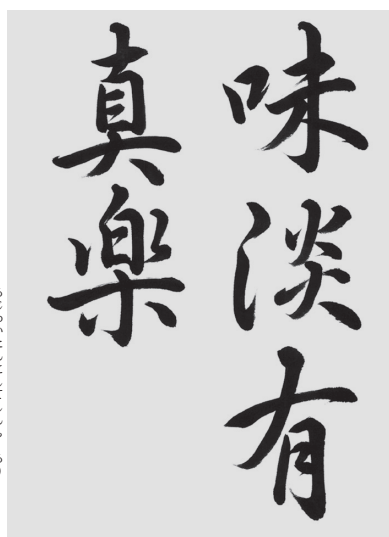
〔1級コース課題〕

《かな》



浅井機山先生書

《行書》



須田一葉書

《楷書》



◆一般部五段・書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 手 本	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 段	有 段 者	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書 範	有 段 者	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教 範	書 範	教 範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教 育 部	普 通	—	12月しめきりの月例競書課題									1	420
	会 友	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。



▼書 譜

之ニ美而逸少



▼集字聖教序

之論或習俗而



▼孔子廟堂碑

孟之閒羞論五

漢 字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

五段・書範・教範コース課題

- 五段・書範・教範コース受験のきまり
- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
 - 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
 - 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。



(行 書)

会友コース課題

▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとして出品のこと。

※氏名は、各学年に合わせしてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小 1

たび

小 6

提 作
出 品

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

今度こそは毛筆コンクールに出品
しようと考えています 唐時代の
漢詩に張瑞風風の表現を加えて
四行書きに挑戦するつもりです

細 字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてく
ださい。

猿啼客散暮江頭
人自傷心水自流

条 幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎わが屋前の冬木の上に降る雪を
梅の花かと打ち見つるかも(巨勢宿奈磨)

※20頁参照

◆毛筆検定試験三段コース課題

《孔子廟堂碑》

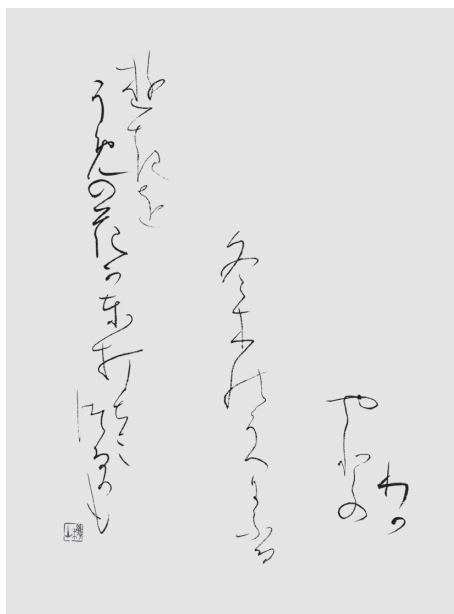
神谷葵水先生臨

超三代
止乎季

超三代止乎季

《かな》

浅井機山先生書



わが屋前の冬木の上に降る雪を
梅の花かと打ち見つるかも (巨勢宿奈磨)

《集字聖教序》

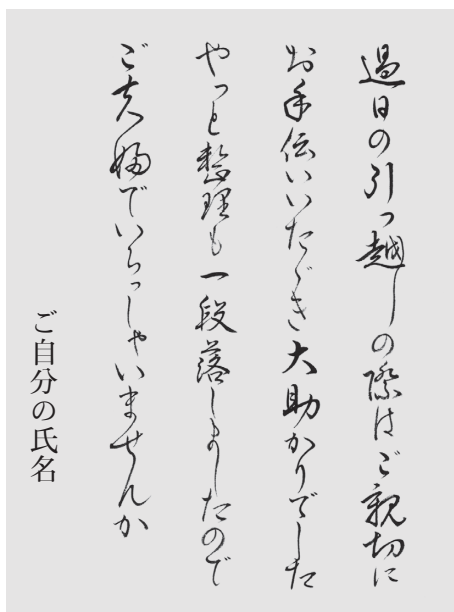
神谷葵水先生臨

是非大
小乗

是非大小之乗

《細字》

伊藤梅香書



※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。

認定証交付について

■昇段・昇級の証明や記念に、段級位認定証を随時交付しております。ご希望の方は、段級位、姓名を明記の上、左記認定料、送料を添えて本部事務局までお申込み下さい。

認定料 (新価格)

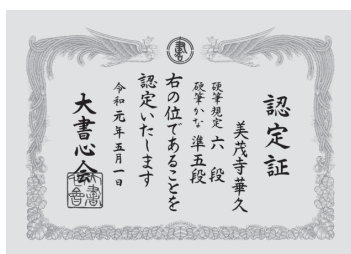
- ◆一般部 (硬筆部・毛筆部別、一枚につき)
 - ・書 範……………一〇、五〇〇円 (千六〇〇円)
 - ・段 位……………二、一〇〇円 (千三〇〇円)
 - ・級 位……………一、〇五〇円 (千三〇〇円)
- ※書範は額入り、他は筒入り。

※認定料は、上位の成績を基準とします。

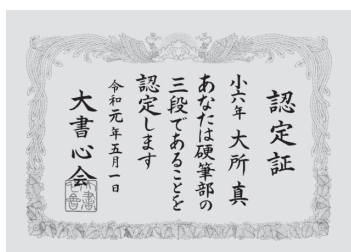
- ◆教育部 (硬筆部・毛筆部別、一枚につき)
 - ・準会友……………一、〇五〇円 (千八九円)
 - ・段 位……………五三〇円 (千八九円)
 - ・級 位……………三二〇円 (千八九円)
- ※支部に所属の方は、支部長先生を通じてお申込み下さい。

- 会友認定料……………二、一〇〇円
- 師範・教範免許料……………三七、〇〇〇円

(いずれも合格時納入)



〔例〕一般部硬筆 (新形式)



〔例〕教育部硬筆

B4判

A4判